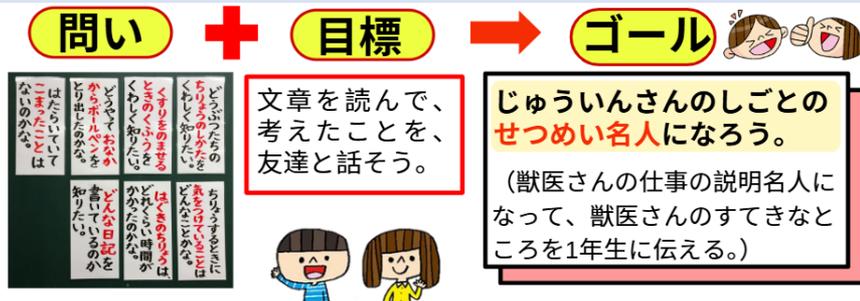


【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実①

★具体的な授業の工夫ポイントを設定し、全校で系統立てて実践

第2学年 国語科 読んで考えたことを話そう「どうぶつ園のじゅうい」(光村図書)の実践

①児童の実態に合わせた必要感のある課題設定



単元のゴールや学習過程を共有する。

個人から出た問いと目標をつなぎ、単元のゴールや学習過程を共有しました。説明名人になって1年生に伝えるためには、筆者の仕事の内容や工夫について詳しく読み取ることや、自分の考えを伝えることが大事であると気付き、主体的に学ぶ意欲を高めました。

②対話や気付きの質を高める工夫

**大変度メーター**  
自分の経験と比べながら、筆者の仕事の大変さやすてきなところを伝え合う。

**話合いのモデル**  
対話を深めるキーワード

でも... 確かに...  
やっぱり... なるほど!

対話を楽しむ手立てとして、児童の考えを、学習者用端末で作成したメーターで可視化したり、話合いのモデルや対話を深めるキーワードを提示したりしました。自分の考えを持つことで、「伝えたい」「友達の考えを聞いてみたい」という思いが高まり、協働的に学ぶ良さを感じながら対話や気付きの質を高めました。

【取組内容】 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実②

★具体的な授業の工夫ポイントを設定し、全校で系統立てて実践

第4学年 国語科 気持ちの変化に着目して読み、感想を書こう 「ごんぎつね」(光村図書)の実践

①児童の実態に合わせた必要感のある課題設定



場面解決カードを基に、自分たちで課題を解決

問いと感想を基に、「ごんと兵十の関わりや気持ちの変化を捉えて物語の魅力伝える感想文を書こう」というゴールに向かって、物語を読み深めていきました。「場面解決カード」を活用し、グループで話し合いを重ねる中で、自分たちで課題を解決していきたいという意欲が高まりました。

②対話や気づきの質を高める工夫



気づきの質を高める手立てのために、ハートメーターで、場面読みが終わるごとに、二人の心の距離を可視化し、心の変容を捉えられるようにしました。「一目で分かる「ごんぎつね」カード」は、場面ごとの重要なキーワードをグループの友達と対話しながら協働的にまとめることができました。